

編集後記

先月行われたラグビーの大学選手権では、準決勝で10連覇を目指す王者帝京大学を圧倒的な攻撃力で撃破した関西王者の天理大学を、前半に数少ないチャンスを確実に得点に結びつけ、後半には追い上げられながらも粘り強いディフェンスで逆転を許さなかった明治大学が22年ぶりの優勝に輝きました。展開がスピーディで目が離せない好ゲームで、両校とも素晴らしかったと思います。開催まであと200余日とせまったラグビーワールドカップ日本大会も歴史に残るような素晴らしい大会になるといいですね。

今月の「誌上ギャラリー」は尊田先生よりお寄せいただきました“おきなぐさ(翁草)”です。春らしく可憐な印象を受けますが、実は毒草の一種とのこと。貴重な一枚を有難うございました。

「論説と話題」では昨年の10月27日に行われた第49回全国学校保健・学校医大会、11月3日に長崎で行われた平成30年度全国医師会勤務医師会連絡協議会、11月19日に行われた鹿児島市医師会 会員受賞祝賀会の模様を報告させていただきました。

「医療トピックス」は桐野先生から去痰剤について解説していただきました。この時期は上気道炎・気管支炎などで多く処方する薬剤ですので、個々の症状に応じた選択が必要になりますね。有難うございました。

「学術」では昨年11月15日に行われた鹿児島市外科医会秋季例会症例検討会で『興味ある症例』のテーマで発表された演題を掲載させていただきました。

「随筆・その他」では古庄先生から【世界の医師・偉人・著名人 No.10】と題してアイルランド・スペイン・パナマの切手5点を供覧していただきました。

米村秀司様からは、前号に引き続いて“英人医師ウィリアム・ウィリスの門下生を追う”と題して残存する文献や史実に基づいた検証・解説をしていただきました。リレー随筆は福德先生よりご寄稿いただいた“漫画で学ぶ・・・”。セクシャルマイノリティーをテーマにした2作品を紹介していただきました。最近話題になっている問題でもあり、背景・現状などを理解するには難解な精神医学の論文や成書などより漫画の方がとっつきやすいかもしれませんね。

「特集」では平成30年第2号から前号までの巻頭を飾っていただいた誌上ギャラリー全作品を掲載させていただきました。どれも季節に似合った素敵な一枚ばかりですね。作品をお寄せいただいた先生方、あらためてお礼申し上げます。

「鹿市医郷壇」今月号の題吟は「給料(はれ)」でした。いつもひねりのきいた作品のご投稿ありがとうございます。

先日、近所に新規開店した焼き鳥屋に行ったところ、注文が全てQRコードを利用したスマホのアプリを介して行うというもの。あまり待たされることもなく、余計な人件費も省ける点では店側も客側にも結構なことといえますが、店内を行き来する店員さんの威勢のよい声が全くなく静かなせいか、焼き鳥屋らしくない奇妙な印象を受けました。上海では街の店舗のほとんどが注文・支払い、さらに店員さんへのチップまでQRコードでのスマホ決済になっているとの事。そのうちキャッシュレスどころかカードレスの時代になるのでしょうか。スマホを家に忘れたり、落としたりしたら大変な事になりそうです。

(編集委員 寺口 博幸)